

私たちの決意 実現したいこと

1. きこえない事に配慮のある障害者、高齢者、こどもの居場所を作ります
2. 地域の一員として、顔の見える関係作りをします
3. おたがいに協力し交流できるようなコミュニティの場を作ります
4. 地域の方々に意見をいただき、施設、運営に地域のニーズを反映させ、まちづくり協議会の活動に参加します
5. 災害時に避難に役立つ施設をめざします



- ・いきいきフリーマーケット
- ・野菜市
(淡路の玉ねぎ・野菜等)
- ・趣味で作った物や
リサイクル用品コーナー

・子どもから高齢者まで誰もが集えるふれあい食堂

おたがいさまネットワークづくり

- ・買い物のお手伝い
- ・草むしり
- ・ちょっとした困りごとのお手伝い

子どもも、大人も楽しめる 神楽ふくろう塾

- ・しめ縄やわらじづくり
- ・食育
- ・手話教室・異言語コミュニケーション



法人理念　ひとりひとりを大切に　ともに生きる

私たちの長年のスローガンである「一人ぼっちのろう者をなくそう」は、そのまま、現在社会の抱える、引きこもりになり「一日、誰とも会わなかった、お喋りしなかった」という高齢者問題と重なります。

居場所・再びつながり合う場

引きこもりがちになる独居高齢者や高齢者世帯の方々や、また、両親が仕事で放課後に行き場のない子供たちが気軽に集まって、お喋りや食事、情報交換、困りごとの相談など、楽しく集える地域の「明るくオープンな居場所」を地域の皆さんと一緒に作っていきたいと思っています。また、その場が地域交流の促進、コミュニティ、防犯、防災活動の拠点としての役割を担えることをめざしています。

豊かな育ち合いを

核家族化の今、子供達の発達の過程で、高齢者や障害者と関わることは、例えば高齢者が孫のような子供たちに、戦争体験や、地震、昔話をしながらふれあったり、障害のある人たちとの交流することは、とても大切で、子どもたちにとっても豊かな人格形成につながる経験になるのではないのでしょうか。

立案段階からの参加を　共同実現を

地域の皆さまには、私たちの思いを知って頂き、お知恵を借りながら、だれもが安心して利用できる施設作りにご協力頂ければ幸いです。そのことは、まちづくり宣言にも沿うものと確信しています。

2017（平成 29）年 4 月 27 日

社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会